

# 資 料

# 学びの印象度チェックリスト

## 1 作成に当たって

本校ではこれまでも、一人一人の子どもに対して個人目標に対する評価を行うことで、授業実践の充実を図り、一定の成果を挙げてきたと考える。しかしながら、指導目標に対する評価が中心であり、目標達成した子どもの姿が見られたかどうかという点にウェイトが置かれていたと言える。

ところで、「学び」に焦点を当て、授業での目標達成に加え、子どもの思いを大切にすることで「学び」が連続するのではないかと考えた場合、子どもの内面に目を向けながら、子どもの「学び」をとらえていくことが大切である。つまり、目標を達成したかどうかというこれまでの評価に加えて、「学び」を意欲や興味・関心等もっと幅広い視点からとらえていくことが必要である。

以上のことから、「学びの印象度チェックリスト」を作成・活用することで、授業改善を行った結果、どういった子どもの「学び」の変容が見られたか、子どもの「学び」をエピソード記録や授業目標の評価等とともに、より客観的に分析していくための一つの資料とすることができるとともに、結果として、子どもの「学び」について共通した指標をもつことにもつながると考える。

## 2 活用の意義

授業実践を振り返ったり、充実したものにしたりするために、授業中の子どもたちの様子から、わたしたち教師の手立てや指導方法等の効果を検討していくことが必要であると言える。

現在、各学部ではVTRからエピソードを出し合ったり、授業目標の達成度を検討したりしながら、次の授業実践に向けて、「学び」の三要素から授業改善を行っている。

それに加えて、一つ一つの授業をこの「学びの印象度チェックリスト」を用いて、記録していくことにより、授業改善の結果、用いた手立てと子どもの「学び」との関連性を整理していくことが可能となるとともに、授業実践を通した子どもの変容を見る一つのツールとなると考える。

## 3 目的

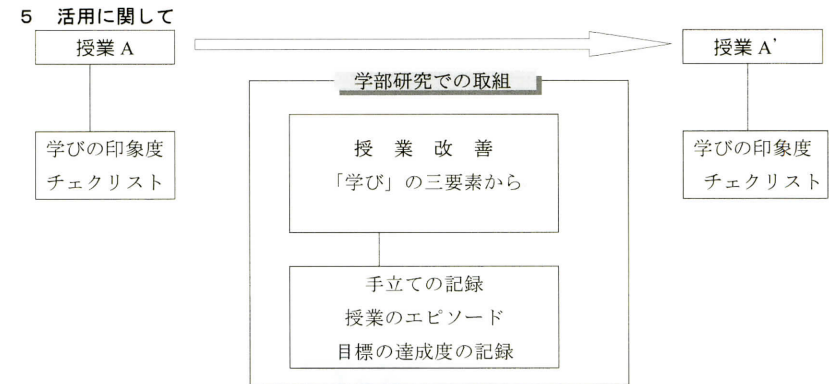
この「学びの印象度チェックリスト」は授業改善後の、授業実践を記録するツールであるとともに、子ども一人一人の「学び」の姿の変容を見るためのツールである。したがって、この「学びの印象度チェックリスト」は、授業改善を行った際の授業の記録として使い、「学び」の三要素から授業改善を行ったことが、子どもの「学び」の姿にどうつながっていったかを検討する際に用いるという目的がある。

## 4 各チェック項目の選定に当たって

チェック項目の選定に当たっては、田口（1994）の論文中の「動機づけ行動及び動機づけ方法を評定するための目録」を主に参考とし（詳しくは参考文献参照）、その項目を、本校の研究理論に合わせて変更したり、追加したりしながら作成した。田口の論文を参考にしたのは、子どもの思いを大切にすることで、子どもが主体となって、「学び」が連続するのではないかとこの本研究の仮説に基づくからである。

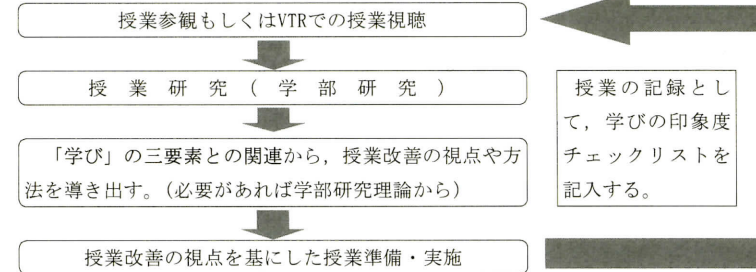
田口の評定目録との主な違いは、学習過程上で項目を分けている点、段階を5段階にしてある点、N（場面なし、観察できなかった）を取り入れた点である。なお、学習過程ごとに項目を分けてあるが、厳密には区別しにくい場合があるので、必ずしも学習過程ごとに区切ってチェックするという意味ではない。

印象度でチェックするので、教師の主観が入ってくるが、印象度でのチェック記録を蓄積し、項目間の相関等を検討することで、より信頼度のある必要な項目の精選につながると考える。

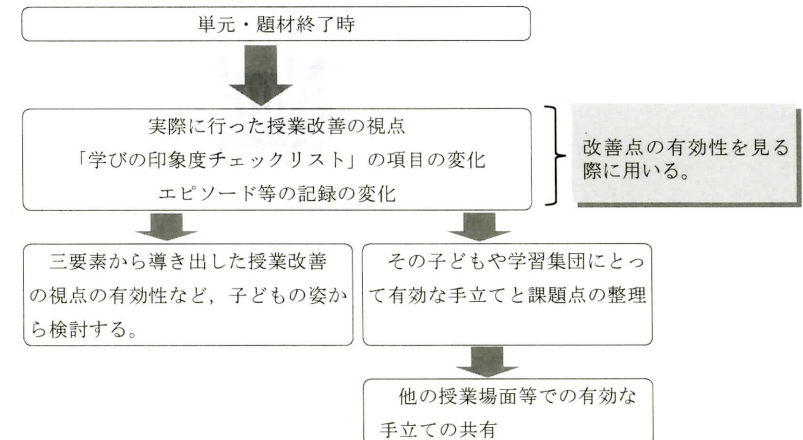


### 【授業改善をする際の流れ】

対象：対象児童・生徒（事前に対象児の分担を決めて行う）



### 【学びの印象度チェックリストの活用】






### 【参考文献】

田口則良（1994） 精神遅滞児の認知的動機づけに基づく指導方法の研究 北大路書房

# 学びの印象度チェックリスト

鹿大附特Version2010

指導の形態( )		N…場面なし、観察できなかった 1…ない、見られない 2…あまりない						
グループ名( )		3…少し(部分的に)見られる 4…よく見られる 5…非常に(確実に)見られる						
単元・題材名		月 日( )						
授業改善の視点	教材・教具	人	自分					
対象児童・生徒名								
教育的内容 (目標・活動等)								
過程	チェック項目	段階						
								
		N	1	2	3	4	5	
	1 教師との親和感が見られるか。	N	1	2	3	4	5	
	2 集団としての親和感が見られるか。	N	1	2	3	4	5	
向 か う	3 学習への期待が見られるか。	N	1	2	3	4	5	
	4 学習の準備を進んで行っているか。	N	1	2	3	4	5	
	5 話をしっかりと聞いているか。	N	1	2	3	4	5	
	6 今までの学習との関連を想起しているか。	N	1	2	3	4	5	
	7 期待が学習への取り掛かりと結び付いているか。	N	1	2	3	4	5	
	8 教師の説明を理解しているか。	N	1	2	3	4	5	
	9 学習の目当ての把握(教材理解)は確実か。	N	1	2	3	4	5	
	10 学習に対する見通しをもっている(計画等)か。	N	1	2	3	4	5	
	か わ る	11 学習活動に自分から取り組んでいるか。	N	1	2	3	4	5
		12 本人の行動は学習活動と関係がある行動か。	N	1	2	3	4	5
13 思うようにできないところが分かっているか。		N	1	2	3	4	5	
14 教師に自分から援助や質問を求めるか。		N	1	2	3	4	5	
15 教師へのかかわりは子どもから見られるか。		N	1	2	3	4	5	
16 友達に自分からかかわっているか。		N	1	2	3	4	5	
17 教具を有効に使っているor使いこなしているか。		N	1	2	3	4	5	
18 自分から進んで活動を選択しているか。		N	1	2	3	4	5	
19 自分なりの解決方法を見つけて進めているか。		N	1	2	3	4	5	
見 つ め る	20 仲間の言動から気付きが見られるか(相互評価)。	N	1	2	3	4	5	
	21 学んだことを伝えることができたか。	N	1	2	3	4	5	
	22 学んだことと既有知識が結び付いたか。	N	1	2	3	4	5	
	23 次へのやりたい意欲が高まったか。	N	1	2	3	4	5	



# 授業実践力に関する自己評価シート

鹿児島大学教育学部附属特別支援学校

氏名		(小中高)	自己診断及び特記事項	
I 授業実践を根拠から支える資質・能力	1 情意エリア	(1) 使命感の堅持 子どもの学びの保証や質の高い授業の提供について、使命感や職責感、責任感を堅持していると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 教育的情熱の高揚 子どもたちの存在を中心に据え、情熱的・意欲的に授業設計や実践に取り組み、還元していきたいと意識していると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 研修の重視 授業の質を高めるため、研修の重要性を認識するとともに、常に学ぶ意識を堅持していると思うか。	1 2 3 4	
	「I-1 情意エリア」(平均)			／12 ( )
	2 研鑽エリア	(1) 知性や感性、創造性のかん養 知性を磨き、感性や創造性を豊かにすることが、授業実践に不可欠であると認識していると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 社会性の獲得 ルールの遵守、マナーや人権・福祉感覚の獲得など、社会的な良識を身に付け、授業に臨むことが不可欠と認識していると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 広い教養の獲得 子どもたちの模範となる質の高い授業を提供するため、広く一般や専門の教養を身に付けることが不可欠と認識していると思うか。	1 2 3 4	
		(4) 自己啓発 飽くなき追及に支えられ、課題の発見やPDCAサイクルの獲得、自己改善などに意欲的に取り組もうとしていると思うか。	1 2 3 4	
	「I-2 研鑽エリア」(平均)			／16 ( )
	「I 授業実践を根拠から支える資質・能力」(平均)			／28 ( )
II 授業実践の中核を支える資質・能力	1 状況把握エリア	(1) ミッション 学習指導要領等の把握や教育課程の理解、全体計画の整備、学校評価の課題把握、保護者・地域の願いなどをとらえていると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 家庭状況や地域情報 家庭環境や本人・保護者の希望、生育暦、地域環境など、子どもを取り巻く環境の情報などをとらえていると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 学校や学部、学級の様子 学校や学部の目標とその実態、学級内や学部内の人間関係や個々の特性などの情報をとらえていると思うか。	1 2 3 4	
		(4) 子どもの様子 子ども一人一人の発達段階や教育的ニーズ、障害の状態や特性等の個々の情報をとらえていると思うか。	1 2 3 4	
		(5) 生涯をみた状況の把握 就学前や卒業後の子どもたちを取り巻く状況や、障害者施策等についての情報をとらえていると思うか。	1 2 3 4	
	「II-1 状況把握エリア」(平均)			／20 ( )
	2 理解・分析エリア	(1) 諸調査データ分析 検査結果や個別的教育支援計画や個別の指導計画、引継ぎ書など、様々なデータを引き継ぎ、個々の変容などをとらえていると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 観察データ等の分析 日常の学校や学級内における生活の様子や係・委員会活動、授業の様子などを観察・分析するなどの活用をしていると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 学習指導要領等の確認・理解 学習指導要領等を把握・確認し、教育課程の編成やそれぞれの計画等にいかそうとしていると思うか。	1 2 3 4	
		(4) 発達段階や発達特性、障害への理解 発達段階や発達特性、障害等を踏まえて、子どもの課題を導き出し、目標設定や環境の調整、授業等へ生かしていると思うか。	1 2 3 4	
(5) 教材分析 教育課程や教育的ニーズ等を踏まえ、子どもの実態に応じた教材の分析や指導目標の設定などに取り組んでいると思うか。		1 2 3 4		

資料2

II 授業実践の中核を支える資質・能力	「II-2 理解・分析エリア」(平均)		／20 ( )	
	3 指導エリア	(1) 授業のデザイン① 指導目標や子どもの学習状況、子どもの実態や興味・関心などを踏まえ、指導計画や学習指導案などを作成していると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 授業のデザイン② ITの役割と意義を理解し、授業ミーティングを行い、役割分担を明確にしなが授業案を計画し、授業に臨んでいると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 授業の実際 指導計画や進捗状況、子どもたちの学びの達成度や様子などを踏まえ、授業に取り組んでいると思うか。	1 2 3 4	
		(4) 授業の評価 学習指導要領や教育課程等の目標及び子どもの教育的ニーズ等に基づき、様々な見取りや評価方法を駆使しながら、子どもたちの学習状況等を評価し、次の指導に生かすことができていると思うか。	1 2 3 4	
		(5) 授業の分析 子どもたちの学習状況や達成状況などを的確に把握し、記録・分析して指導に生かすことができていると思うか。	1 2 3 4	
(6) 授業の改善 質の高い授業の提供を目指し、授業分析等を活かしなが指導法の工夫・改善に取り組んでいると思うか。	1 2 3 4			
「II-3 指導エリア」(平均)			／24 ( )	
「II 授業実践の中核を支える資質・能力」(平均)			／64 ( )	
III 授業実践のマネジメントに係るエリア	1 メタ評価エリア	(1) 授業実践の評価・改善 PDCA サイクルを獲得することで、客観的かつ適切な評価を下し、自己改善につなげていると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 授業環境の改善・活用 子どもたちを取り巻く環境の整備と工夫に取り組み、改善するとともに、教育活動に活用しようとしていると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 危機管理 平日頃から安全対策等を講じ、子どもたちを取り巻く状況によく配慮するなどの危機管理意識をもっていると思うか。	1 2 3 4	
		(4) 情報処理 子どもたちとのかかわりや同僚との情報交換、保護者等からの情報収集など、情報収集や分析、整理がなされていると思うか。	1 2 3 4	
	「III-1 メタ評価エリア」(平均)			／16 ( )
	2 コミュニケーションに係るエリア	(1) 協働の活性化 同僚職員と情報交換や意見交換や助言等に取り組み、相互の研鑽に励んでいると思うか。	1 2 3 4	
		(2) 連携の充実 保護者や地域の方々との積極的な情報交換や異校種の教員、教育行政や大学との相互研鑽等の教授など連携に取り組んでいると思うか。	1 2 3 4	
		(3) 個に応じた支援体制の確立 子どもの実態や各ニーズ等を踏まえ、補充・発展的な取組を工夫するなど、個々に応じた支援体制の確立に取り組んでいると思うか。	1 2 3 4	
		(4) 分掌等の充実 職員間の意見や情報の交換等を活性化させ、相互の分掌機能を一層高めること、指導体制等の確立に取り組んでいると思うか。	1 2 3 4	
		「III-2 コミュニケーションエリア」(平均)		
「III 授業実践のマネジメントに係るエリア」(平均)			／32 ( )	

- 【評価基準】
- 1 = 適切な資質・能力の定着には課題がある。
  - 2 = 適切な資質・能力の定着が十分とは言えない。
  - 3 = 適切な資質・能力が身に付いている。
  - 4 = 適切な資質・能力が十分に身に付いている。

自己診断結果の確認（自己評価に関する改善策等）

\* 「H21職員研修モデルカリキュラム開発プログラム（独立行政法人教員研修センター採択事業）（鹿児島大学）における授業実践力診断カルテ及び教育実習における評価（鹿大附属特別支援学校）を参考に作成した。

## 全体研究ポストアンケート

研究のまとめの参考とさせていただきますので、以下の質問にお答えください。

- 1 所属学部にご記入ください。

( 小 ・ 中 ・ 高 ・ その他 )

- 2 以下の質問に対して、①～⑤のいずれか一つを選んで○印を付けてください。

①全く思わない ②思わない ③どちらでもない ④思う ⑤とてもそう思う

※ なお、いずれの回答に対しても、必ずコメントを書いてください。

<お願い>

アンケートによる回答に責任をもつ意味でも、すべての回答に対するコメント欄にその理由を書いてください。

## 研究の視点1に関して

- (1) 研究の対象とした授業実践を通して、子どもの学びの姿をこれまでよりとらえることができるようになったと思いますか？

① 全く思わない ② 思わない ③ どちらでもない ④ 思う ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方は、関連していると考えられることを具体的に書いてください。

- (2) 研究の対象とした授業実践において、一人一人の子どもにより望ましい学習活動の設定及び指導方法の工夫ができるようになったと思いますか？

① 全く思わない ② 思わない ③ どちらでもない ④ 思う ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方は、関連していると考えられることを具体的に書いてください。

- (3) 研究の対象とした授業実践において、三要素（教材・教具、友達や教師、自分）を用いた授業改善により、授業が一単位時間内及び次の授業へつながったと思いますか？

① 全く思わない ② 思わない ③ どちらでもない ④ 思う ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方は、関連していると考えられることを具体的に書いてください。

- (4) 研究の対象とした授業実践において、三要素（教材・教具、友達や教師、自分）を用いた授業改善により、子どもの学びの姿がこれまでと変わったところがありましたか？

① 全く思わない ② 思わない ③ どちらでもない ④ 思う ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方は、どのようなことが子どもの姿に影響したと思うかについて具体的に書いてください。



## 研究の視点2に関して

- (5) 活用場面を明確に意図した授業実践を通して、これまでの授業実践と変わったかと思うところがありましたか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方はどのような点が変わったか具体的に書いてください。

- (6) 習得型と活用型を意識した指導計画の立案や授業実践を通して、一人一人の子どもに何をねらうかがこれまでより明確になったかと思えますか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方はどのような点が変わったか具体的に書いてください。

- (7) 活用を意図した授業実践を通して、教師側の意識として、活用場面での実践につながりやすくなったかと思えますか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方はどのようなことが具体的に書いてください。

- (8) 活用を意図した授業実践を通して、子どもの姿から見て、授業実践と活用場面での実践とが関連付いたかと思えますか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方はどのようなことが具体的に書いてください。

## 研究内容全般に関して

- (9) 今回の授業実践を通して、子どもの姿から、内面の思い（「できた」「わかった」「実感」「自己効力感」等）を捉えることができましたか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①～⑤と答えた方は、その意識の変化や理由があれば具体的に書いてください。

- (10) 三要素（教材・教具、友達や教師、自分）は授業実践上の指導方法の工夫や、学習活動の設定、授業改善に一定の効果があったと思えますか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①・②・③と答えた方はその理由を、④・⑤と答えた方は、どの部分に生かされているかという理由を書いてください。

- (11) 「学びの印象度チェックリスト」は、授業実践記録や授業を見る共通した視点、子どもの姿の把握にとって、有効だったと思えますか？

① 全く思わない    ② 思わない    ③ どちらでもない    ④ 思う    ⑤ とてもそう思う

※ ①～⑤と答えた方は、その理由を具体的に書いてください。

- (12) 「学びの印象度チェックリスト」における更なる改善点としてどんな点があると思えますか？

自由記述をお願いします。

- (13) 今回の取組を通して、「学び」のつながりとひろがりにおいて、更に効果的と思われる取組としてどんな内容が考えられますか？

自由記述をお願いします。

- (14) 今回の取組を通して、「授業実践力に関する自己評価シート」において、その結果を生かし、教師の力量形成につながるような取組としてどんな取組が考えられると思えますか？

自由記述をお願いします。